砂子澤　富美子議員



質問①

訪問入浴について

様似町では令和４年４月より訪問入浴サービスが廃止されましたが、現在の状況について伺います。

問　様似町の訪問入浴廃止後は隣町のサービスに繋げたと伺っていますが、隣町も令和７年３月に廃止されています。様似町からの利用者のその後の生活及び困り事の把握はありますか。

答　町内外のサービスに繋げており、入浴の困り事は特に寄せられておりません。隣町の訪問入浴廃止時の様似町利用者はおられませんでした。

問　様似町で訪問入浴に関するニーズ調査等の考えや、再開の考えはありますか。

答　経緯的にニーズ調査しても多くは出てこないと考えています。看護師の人材不足、利用者数勘案し、事業展開は難しいと思います。

問　介護保険対象者だけではありません。例えば様似町が主になって広域での展開はどうですか。障害のある方の在宅生活において、ご両親の高齢化等で入浴が長期間困難な方もおられ、どうか前向きな検討をお願いしたい。

答　福祉・医療の領域で広域化は考えていかなければと思っています。選択肢は多い方が良いので、もう少しこちらが間に入って話を聞いていければと思っております。

質問②

令和８年度(令和７年度事業対象)教育委員会点検・評価報告について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の第26条において議会に提出・公表が義務付けられている「教育委員会点検・評価報告書」について

問　議会へ「報告書」提出時の考え方について伺います。

答　①いわゆる義務的報告で単なる情報提供目的（本件はこれに相当）②行政運営上重大な影響を与える事案等を対象とする、理解を得る必要のある任意の報告に二分されています。

問　議会に報告が義務付けられている「報告書」が単なる情報提供目的という事に疑問。

「報告書」中の、議会で議論されてきた内容について伺いたい。

サロン・保育所ともに利用されていない方の取りこぼしはないですか。

答　ありません。

問　ひまわり開館時間再確認及びひまわり職員の困り事の把握についてはどうですか。

答　開館時間は令和８年度から土曜日及び長期休業期間中については午前7時30分からに変更している。

職員の困り事は、子供に関しては細かいトラブルは日常的にあり、保護者に関しては適切な利用申請がされず対応に時間がとられています。

問　内部評価と外部評価の違いについての捉え方は。

答　大きな食い違いはないと判断しています。

問　特別支援教育の取り組みについてはどうですか。

答　計画は実施出来たが、情報共有の機会が不十分だった。

問　スポーツセンターについて外部評価をどう捉えていますか。

答　できるだけ早く方針を決められるよう引き続き取り組んでいきます。

問　公表方法を伺います。

答　町のウエブサイトの教育委員会のページに掲載、一般の方も閲覧、ダウンロード可能です。

質問③

様似町のこれからの観光やイベント等について

様似町の自然を生かした観光の考え方について

問　既存の観光資源を生かす工夫について伺います。

答　ジオパークの活動を実施している所です。

問　これまで議員からも、アポイ岳のロープウェイや気球・ご当地ソフト等、様々な案が出ているが取入れる考えはありますか。

答　実施しているものはないが、新たな事につながる事もあるので色々伺いたいです。

問　新たな事も良いが、様似には既存の素晴らしい資源がたくさんある。豊かな自然はもちろん、生かせる取組もたくさんあるのではないか。

答　足元の見直しは必要で、当町としてはジオパークの価値向上に取り組んでいます。

問　地域の産業を生かす取組について伺います。

答　地場食材を活用したトレイルフードが取組の一つ。地場産業の活用は重要と捉え、観光協会や関係団体と連携し検討していきます。

問　宣伝方法を伺います。

答　ジオパークのＨＰを主としていたが本年度より更新が出来ず、ＳＮＳでの発信を進めています。

鈴木　隆　議員



質問①　公共施設のトイレの洋式について

問　一般家庭では多く洋式トイレが普及されていますが、公共施設では和式トイレが多く見られます。今後、利用者の快適性や衛生的な観点から洋式トイレへ変更することが必要と考えます。洋式トイレにする計画はありますか。

答　公共施設全体の洋式・和式のトイレの数は３５４個あります。その内洋式トイレは２５５個設置しています。

洋式化率は72％に及んでいます。新しい施設では１００％、洋式ですが既存施設については世の中の流れで、洋式トイレ利用者の増加に対応して、既存の和式トイレを洋式トイレに改修することが必要と思っていますが、それぞれの施設の利用状況や施設の構造状況により対応してまいりたい。

質問②　旧様似駅周辺整備の必要性について

問　特に、旧様似駅舎の改修は必要であると考えます。

簡易に改修工事ができる物件が多く、周囲の美観にとっても必要と考えますがその計画はありますか。

答　本年３月議会の予算審議の中で、施設の建て替えでなく、施設修繕等の対応で現施設の維持を図るべきなど、施設整備に関して慎重に行うべきとの多数の意見がありました。それを踏まえ再度、協議したが現駅舎の老朽化の状況から建て替えの方向で計画していきたい。

問　多額の費用が掛かる建て替えですが津波対策はどう考えますか。

答　現在の場所で役目を果たせると思っています。

質問③　特別養護老人ホームソビラ荘の存続について

問　運営している様似福祉会が令和９年３月31日をもって撤退するとのことですが入所者・施設職員の処遇や、今後の施設運営する主体はどうなっていますか。

答　特別養護老人ホームソビラ荘については、様似町に必要な施設だと町では考えております。入所者の方がそのまま様似ソビラ荘でお過ごしいただけるよう、たとえ運営主体が変わっても、現在の場所での入居生活が継続し、施設サービスが継続するよう、町としてもその支援をしてまいります。施設職員の待遇については同じ待遇が継続することを第一条件として、次の運営主体との交渉をしてまいりたいと考えています。運営の方法としては他の法人での運営、町を主体とする指定管理制度による運営、町直営による運営等々を探っていきたい。

問　町民にとって必要な施設であることは、「論を俟たない」ことですが、今後町として、この施設の維持・運営についてどのような対応をすることを考えていますか。

答　決算・予算の状況や財産の状況について、外部に説明できるように資料整理をいたします。その中で、経営収支の詳細について、法人側にある資料を見ることも多くなると想定しています。担当となりました保健福祉課参事が直接様似ソビラ荘で資料を見て、職員から聞き取りをしていきます。外部に対しては、資料をまとめた上で経営の打診をしていきますが、半年という期間の中で交渉していくのは大変困難でありますので、詳細資料をまとめるのと並行して外部との交渉もしていく予定です。合わせて、介護人材不足や高齢化社会の中、介護の広域化についても検討することが必要になるため、近隣町とも連携し、協議してまいります。

